

決済動向

— 平成8年12月 —

(平成9年2月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

12月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.3万件(前年比+7.6%)、金額ベースでは322.4兆円(同+4.6%)となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は300.5兆円(前年比+4.5%)、民間の集中決済制度にかかる資金決済は14.6兆円(同+4.3%)となった。

12月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで8.4万件(前年比+54.0%)、金額ベースで239.5兆円(同+71.5%)となった。また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで4.1万件(前年比+3.2%)、金額ベースで231.8兆円(同+8.0%)となった。

12月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで165.2万件(前年比+12.3%)、金額ベースで7.9兆円(同+21.7%)となった。

12月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高6.4兆円(前年比△9.9%)、支払高14.7兆円(同+3.3%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、12月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは47.5万枚(前年比+9.0%)、金額ベースでは5.3兆円(同△0.1%)となった。

12月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは519.4万件(前年比+13.5%)、金額ベースでは10.3兆円(同+14.3%)となった。

12月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは3.4万件(前年比+13.5%)、金額ベースでは37.2兆円(同+27.5%)となった。

3. その他

12月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は9.1万契約(前年比+18.0%)、月末の建玉数量は136.5万契約(同+12.2%)となった。

12月のS W I F T総送信件数(本邦分、月中合計)は223.5万件(前年比+10.4%)となった。

(信用機構局)